

第2回 博多と福岡を結ぶ 国体道路の空間利活用検討会

春吉橋賑わい空間のあり方検討

～目次～

1. 前回会議を踏まえた検討方針
2. 検討の背景・目的
3. 春吉橋賑わい空間試行イベントの結果報告
4. 春吉橋周辺の特徴
5. 賑わい空間のニーズ把握
6. 賑わい空間の方向性
7. 方向性を踏まえたテーマ毎のイメージ
8. 今後の賑わい空間のあり方検討方針(案)
9. 民間サウンディング(案)

令和2年 6月24日

1. 前回会議を踏まえた検討方針

■平成31年3月25日 第1回会議における主な意見

委員の意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 春吉橋付近（清流公園横）のタクシープールは迂回路橋完成後も確保する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 迂回路橋完成後、タクシー待機場所は19台分となっている ● 春吉橋本橋完成後、清流公園横の市道は元の状態に戻すこととしており、タクシー待機場所も元の利用形態（23台）になると考えている
<ul style="list-style-type: none"> ● 今すぐに賑わい創出の機能について検討するのか、賑わい空間に当初から恒常的な施設を整備すべきか否かは議論の余地がある。ニーズの変化も考慮し、10年スパンで賑わい機能について検討していくことも議論すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見を踏まえ、検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民や来街者の意識の変容により交通のあり方も変わるため、仕組みづくりや働きかけをどのように進めていくか検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見を踏まえ、検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 春吉橋周辺は、昼と夜の顔があり、賑わい空間は昼と夜を分けて考える方が良いか、同じイメージで良いかの議論の余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 昼と夜とで分けてアンケート調査を実施 ● 結果を踏まえ、検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 賑わい空間と屋台との関係性の整理が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 博多移動飲食業組合にアンケート調査を実施 ● 結果を踏まえ、検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 賑わい空間のあり方にあわせて、キャナルシティ方面との誘導道路やトイレ等の周辺環境整備の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見を踏まえ、検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 収益を上げている事例（ブライアントパークや南池袋公園等）も参考にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考資料として事例を整理
<ul style="list-style-type: none"> ● 資料で紹介されている事例について、整備主体と利活用主体を整理した上で今後の活用方を議論する方が建設的ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考資料として事例を整理
<ul style="list-style-type: none"> ● 試行イベントは、実際に実施し課題が出てきたものを改善していくことの繰り返しのプロセスが必要となることから、非常に重要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試行イベント結果を踏まえ、検討

2. 検討の背景・目的

1. 背景

- 春吉橋は、架橋後50年余りが経過しており、下部工が著しく損傷し、感潮区域（河口から約1.5km）にあるため、塩害も進行、基礎が木杭であるため、地震に対する十分な耐力が期待できない、橋脚の間隔が短く、川幅も狭くなっているため、治水上のネックとなっているなどの問題を抱えている
- これらの課題を解消するため、春吉橋架替事業が平成25年度より着手された
- 架替に伴って設置される迂回路橋を架橋後も存置し、「福岡の顔」となる賑わい空間として活用

2. 目的

- 「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会提言」に基づき、**博多と福岡を結ぶクロスポイントとなる春吉橋賑わい空間のあり方について検討**することを目的とする。

3. 検討範囲

検討範囲：春吉橋及び橋詰部分（延長約90m、幅約20m）



3. 春吉橋賑わい空間試行イベントの結果報告

1. 開催目的

- (1) 春吉橋迂回路橋への切替に先立ち、地域等への事業に対する理解促進を図る。
- (2) 迂回路橋を将来賑わい創出空間として活用することとしており、地域及び観光客等をターゲットとした地域振興的なイベントを試行的に開催し、今後の事業の参考とする。



▲事業概要及び建設業の魅力を伝えるパネル展

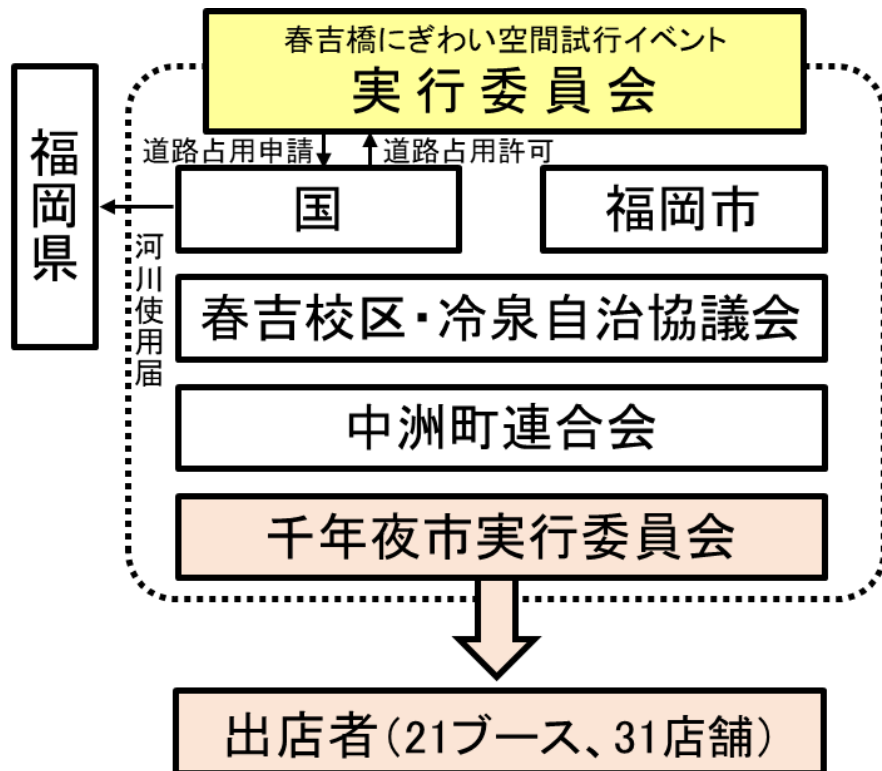


▲多くの人で賑わう迂回路橋

3. 春吉橋賑わい空間試行イベントの結果報告

2. 試行イベントの概要

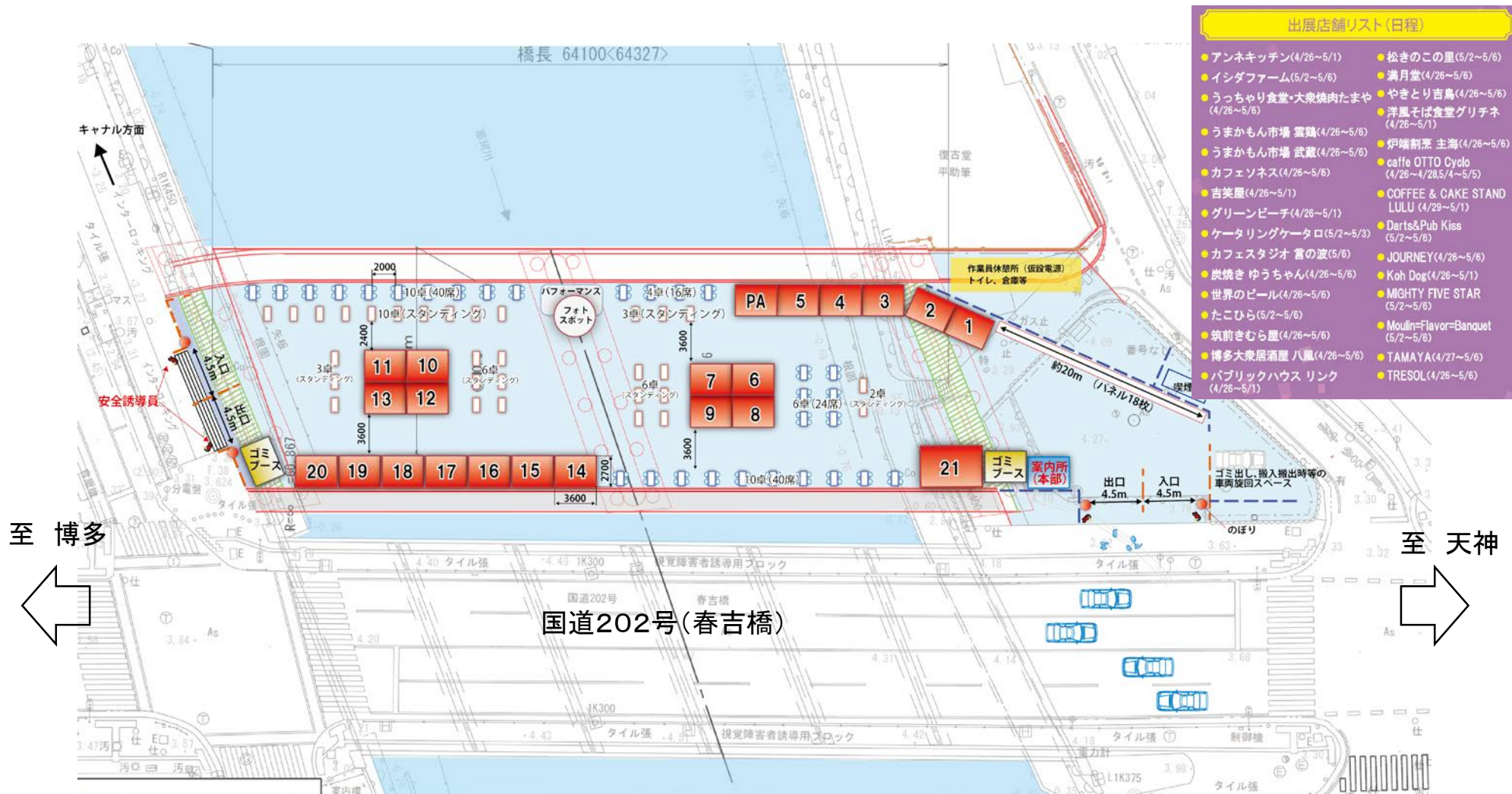
- イベント名称は、平成から令和に渡ってイベントを行うため、新たな時代(令和)、時期(春)、場所(春吉橋)、賑わい空間(宴・祭)を連想させるように「**令春橋宴祭×千年夜市**」とした。
- イベント期間は、平成31年4月26日(金)から令和元年5月6日(月)の11日間で実施。(4月29日は雨天中止)
- イベント内容は、春吉橋架替事業を紹介する「**令和に架ける橋**」パネル展と、福岡市内で類似のイベント実績があり、認知度の高い「**千年夜市**」とタイアップし、**賑わい空間を試行創出**した。
- 今後の事業の参考とするために、来場者や出店者へ**アンケート調査**を実施。
- 「博多と福岡を結ぶ国体道路の空間利活用検討会の有識者委員の助言を頂き、**地元と連携**して実施した。



3. 春吉橋賑わい空間試行イベントの結果報告

2. 試行イベントの概要

- 「橋の上のにぎわひ横町」では、出店は飲食を中心に21ブースを配置。10日間で31店舗が出店を行った。
- その他アーティスト等によるパフォーマンス「星のステージ」や、春吉橋周辺の風景を活かした「フォトスポット」を設置した。



3. 春吉橋賑わい空間試行イベントの結果報告

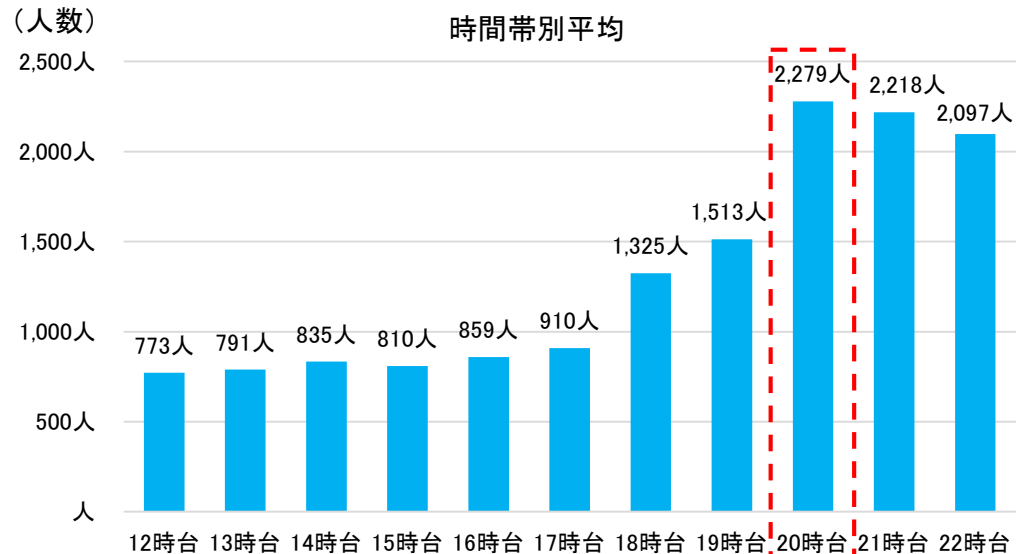
3. 試行イベントの結果

- 来場者数は約**14万人**(のべ入場者数)を記録し、春吉橋の持つ**ポテンシャルの高さを再確認**。
- 国道202号の歩行者のうち、(約35%)**3人に1人**がイベントに立ち寄る結果となった。
- 来場者のピークは20時頃となり、試行イベント実施期間中を通じ、**夜の利用者が多かった**。

	成人		未成年		合計
	男	女	男	女	
4月26日	4,008人	2,046人	204人	162人	6,420人
4月27日	5,574人	4,146人	468人	504人	10,692人
4月28日	6,510人	5,208人	708人	720人	13,146人
4月29日	雨天中止				
4月30日	4,374人	3,822人	546人	336人	9,078人
5月1日	12,486人	8,862人	624人	738人	22,710人
5月2日	9,936人	6,966人	756人	636人	18,294人
5月3日	11,466人	8,919人	921人	1,188人	22,494人
5月4日	9,156人	7,302人	702人	858人	18,018人
5月5日	5,718人	4,470人	564人	480人	11,232人
5月6日	3,780人	2,850人	282人	300人	7,212人

※開催時間は12:00~23:00、4月26日及び30日は15:00~23:00

合計 139,296人



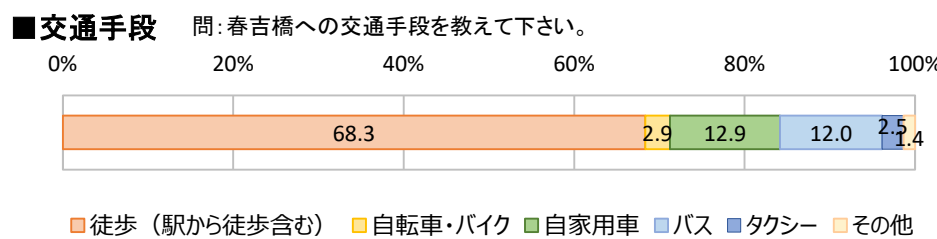
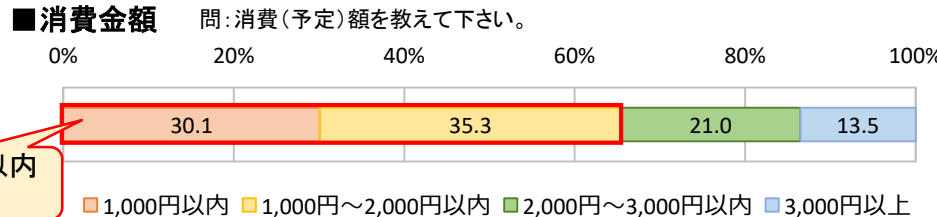
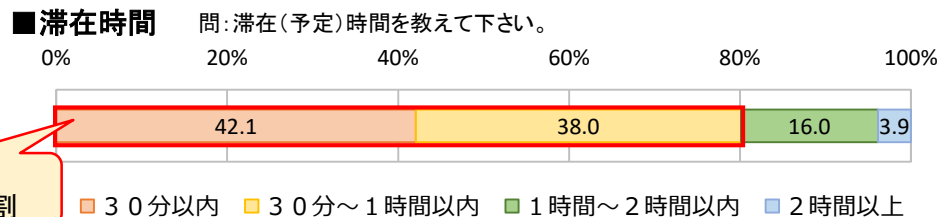
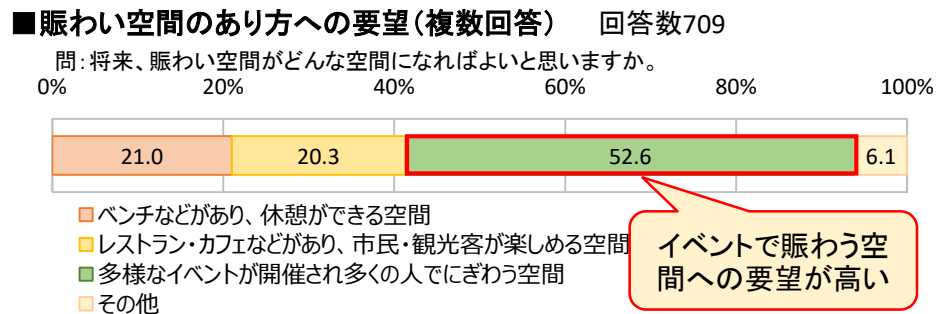
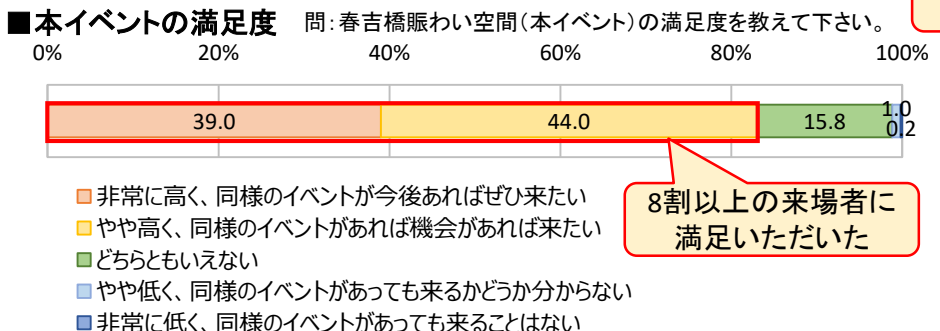
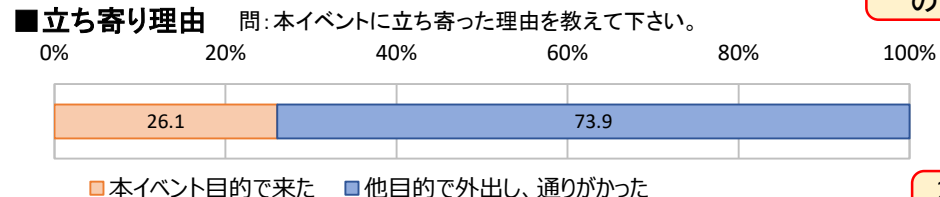
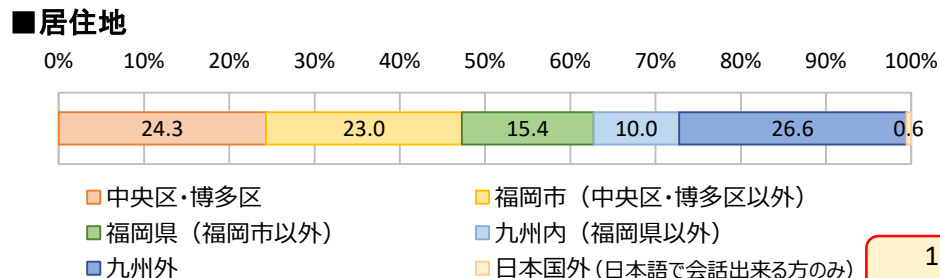
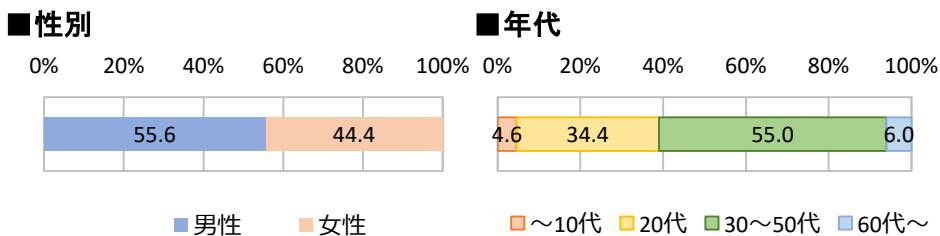
立ち寄り率 = ④イベント来場者 / (①+②+③+④) ➡ 約35%



3. 試行イベントの報告

1. 来場者アンケート調査結果(518票)

- 来場者アンケート(518票回収、2日間)からは、来場者は本イベント以外を目的として立ち寄ったにも関わらず8割以上の方から満足いただいたことや、賑わい空間で今後もイベント開催が要望されるなど、非常に高い満足度を得たこと等が明らかになった



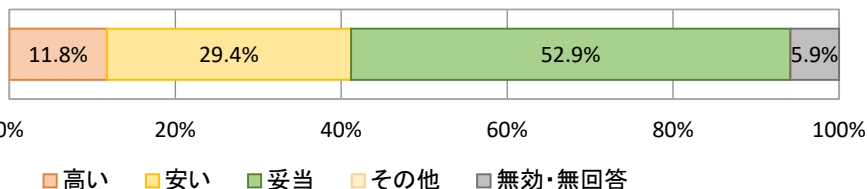
2. 千年夜市実行委員会の意見

- 立地上、春吉橋のポテンシャルは高いと感じた。
- 給排水設備が欲しい。

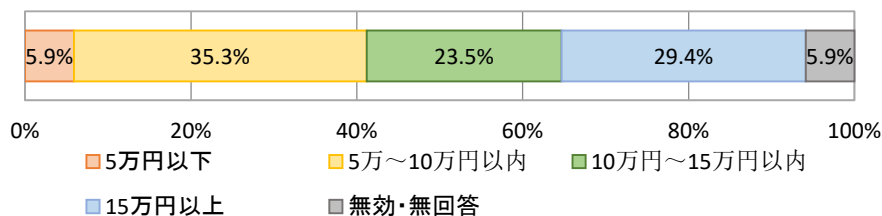
3. 出店者アンケート調査結果(17票)

- イベントへの出店者からは、来場者数、開催場所、会場設備等において概ね満足いただいている
- 将来的に賑わい空間でイベント等を行うにあたり、「インフラ設備(電気・水道)」「風対策」については半数以上の方が要望

■ 出店料 問: 出店料について

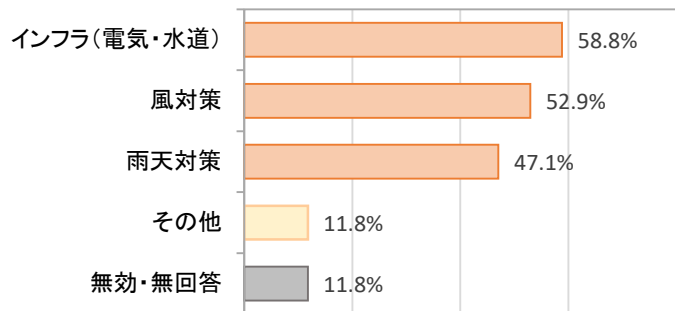


■ 1日あたり売上 問: 1日あたり売上について

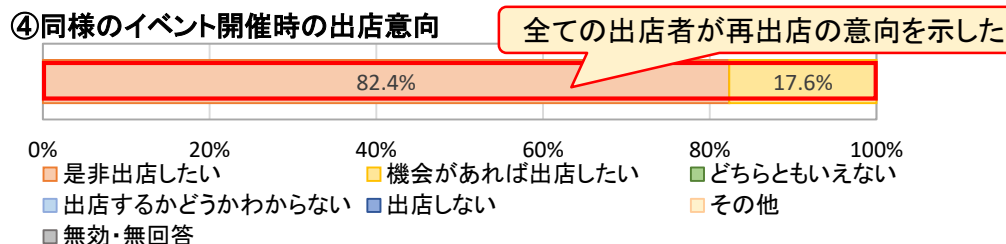
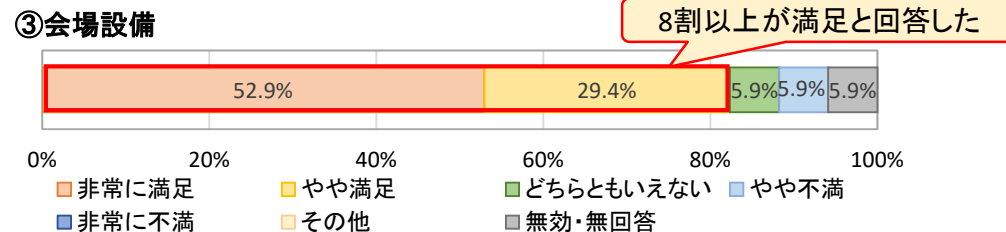
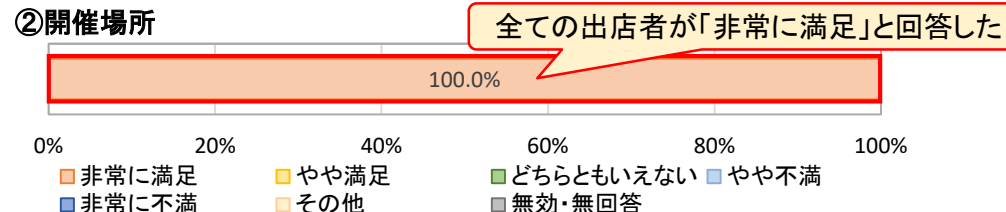
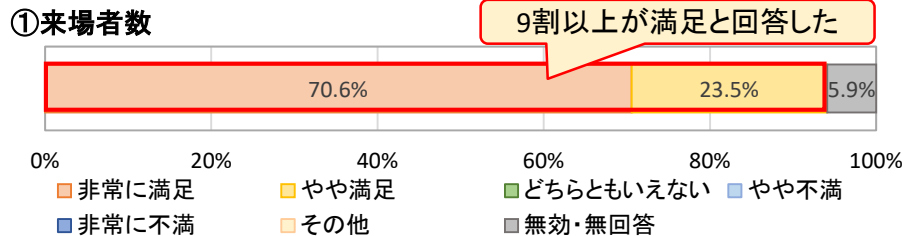


■ 将来的に必要なと思う設備(複数回答)

問: 将来、賑わい空間として利活用する際に、必要だと思う設備があれば教えてください。(複数回答可)



■ イベントの満足度について 問: 本イベントの満足度を教えてください。

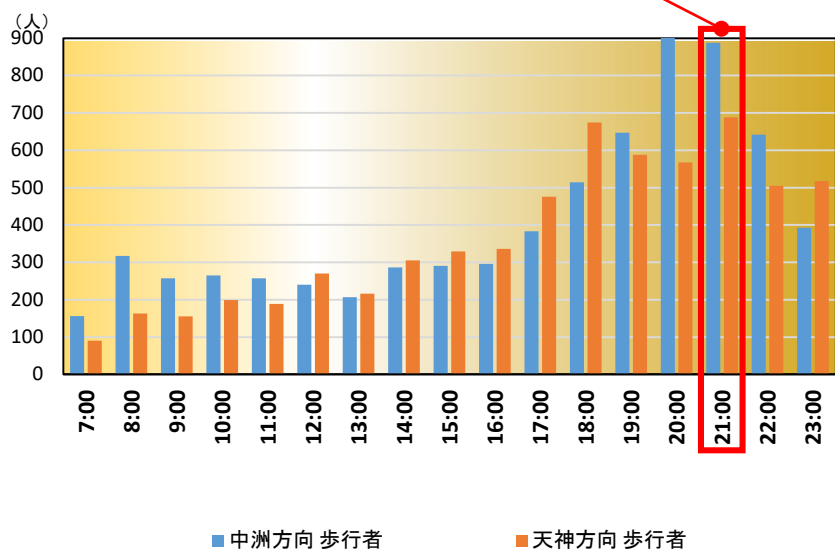


4. 春吉橋周辺の特性

- 春吉橋上の歩行者は、17時～夜間にかけて多い。
- 春吉橋の歩行者は年々増加傾向にある。

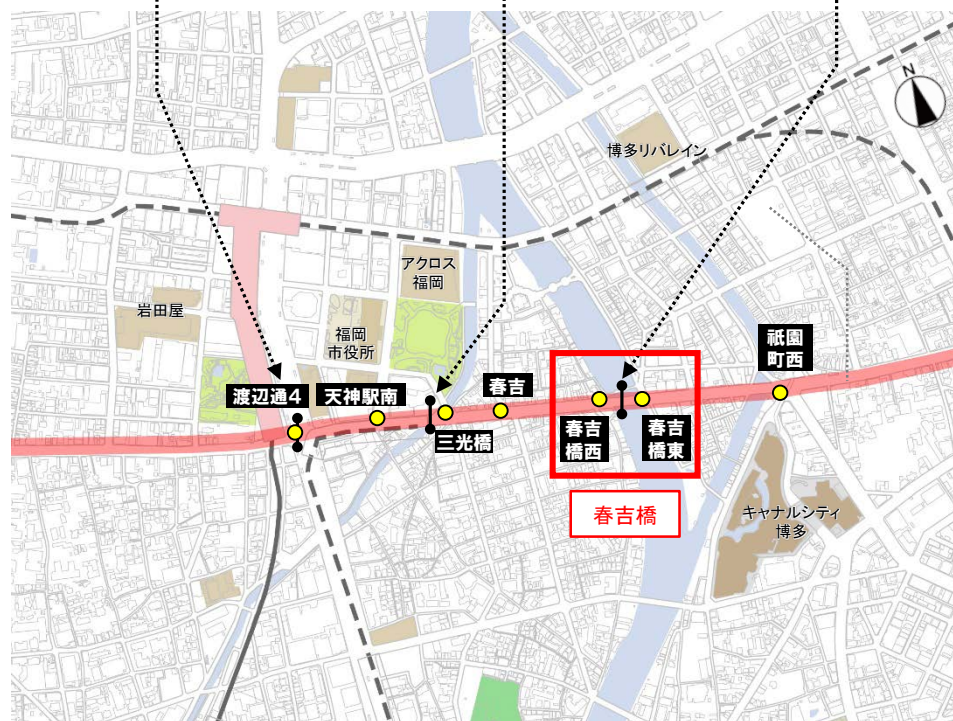
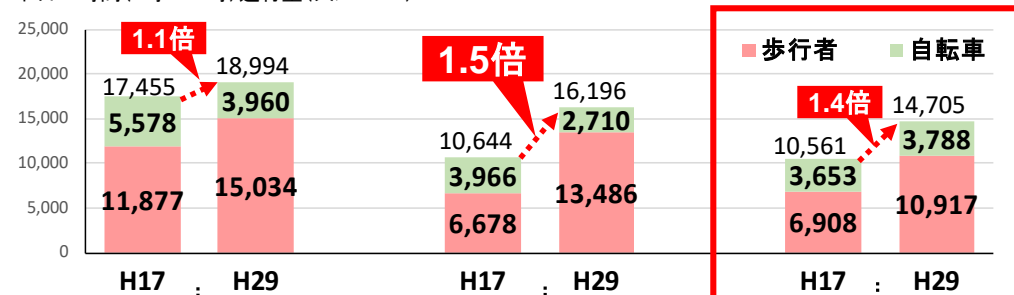
平日歩行者交通量

17時以降歩行者が多く、21時台がピーク(約1,500人/h)



出典：交通量調査(R1.8.1)

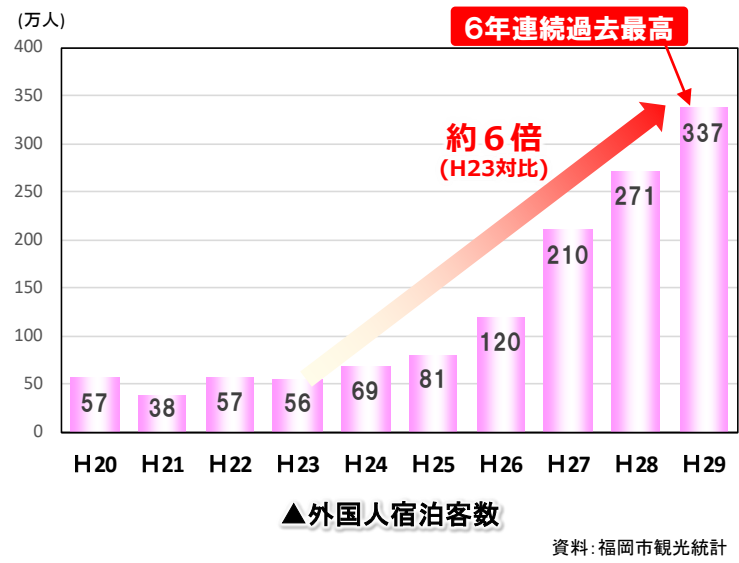
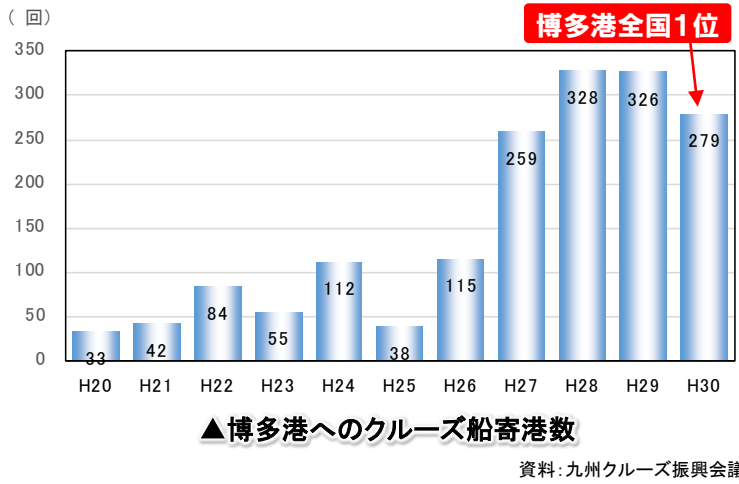
平日13時間(7時～20時)通行量(人/13h)



資料：福岡市通行量調査(H17、H29年度歩行者・自転車)、道路交通センサスH17

4. 春吉橋周辺の特性

- 博多港のクルーズ船寄港数が全国1位、福岡市の外国人宿泊者数が6年連続過去最高。
- これら外国人の都心部の徒歩による流動は、キャナルシティ~天神及び博多~天神に一定数見られ、春吉橋への立ち寄り可能性は高い。
- GWの試行イベント時に目視で調査した結果、来場客の約2割が外国人であった。



※1時間以上滞在した場所を発着地と設定
 ※50人以上の徒歩移動を図示
 ※天神・博多外(域外)を除く

4. 春吉橋周辺の特性

○春吉橋周辺で実施されている事業・イベント等【1/3】

- 春吉橋周辺には24店舗の屋台が営業をしている。
- キャッシュレス決済や多言語メニュー対応の店も多数あり、外国人観光客にも人気のエリアとなっている。

春吉橋周辺の屋台の状況

営業時間	18時頃～翌2時頃 (営業可能時間：17時～翌4時)
店舗数	24店舗



4. 春吉橋周辺の特性

○春吉橋周辺で実施されている事業・イベント等【2／3】

- 春吉橋周辺で実施されている事業・イベントとしては、「博多どんたく港まつり」「千年夜市」「福博花しるべ」が行われている。

『博多どんたく港まつり』

主催	福岡市民の祭り振興会
実施期間	2019年5月3日（金・祝）～4日（土・祝）（毎年開催）
実施エリア	福岡市内各所、博多駅前、どんたく広場（明治通り）呉服町交差点～福岡市役所 など
概要	動員数が200万人を超える国内最大級の祭り。市内に30カ所以上に設置された舞台などで行われる演目や、「どんたく隊」による大規模なパレードがメインイベント。期間中は街全体がお祭りムードに包まれる。



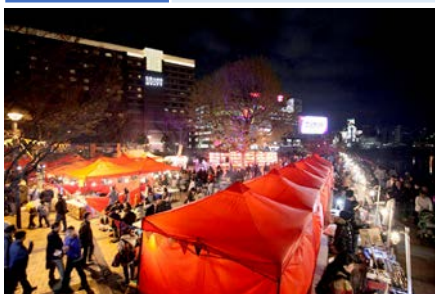
写真提供：福岡市



©NTT空間情報

『千年夜市』

主催	千年夜市実行委員会
実施期間	2019年8月2日～10月27日 毎週金曜日、土曜日、日曜日 16時～23時（毎年開催）
実施エリア	清流公園
概要	清流公園で開かれるナイトマーケット。「旅とローカルの交差点」をテーマに、アジアのナイトマーケットをモチーフとしている。グルメ、雑貨、マッサージ、ステージ等、旅行者も地元の人も気軽に遊びに行ける「安心して安全な 新しい夜の遊び場」となっている。



写真提供：千年夜市 実行委員会



©NTT空間情報

『福博花しるべ』

主催	福博花しるべ実行委員会（福岡市、公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会、We Love天神協議会、博多まちづくり推進協議会）
実施期間	2019年3月中旬～4月中旬（毎年開催）
実施エリア	博多～天神～舞鶴公園周辺エリア
概要	博多～天神～舞鶴公園ルートで行われる市民共働のチューリップを植え付けや、各所で様々な花のイベントを実施。歩いて楽しいまちになるように都心の魅力を高めることを目的とした取り組み。



写真提供：福博花しるべ実行委員会



4. 春吉橋周辺の特性

○春吉橋周辺で実施されている事業・イベント等【3／3】

- 春吉橋周辺ではそのほか、「中洲ジャズ」「中洲クルーズ」「青の洞窟 FUKUOKA」等の事業・イベントが実施されている。
- 2019年に初めて開催された「青の洞窟」は、クルージングが連日予約で満席が続くほどの人気であった。

『中洲ジャズ』

主催	中洲JAZZ実行委員会 (共催：中洲町連合会、チャンネルシティ博多、九州朝日放送)
実施期間	2019年9月14日(土)15日(日) (毎年開催)
実施エリア	中洲各所
概要	中洲各所に設置されたステージでアーティストによるジャズの演奏が行われる。

写真提供：中洲ジャズ実行委員会



『中洲クルーズ』

主催	博多マリン観光
実施期間	通年
所要時間	約30分
運行航路	福博であい橋→チャンネルシティ→博多湾→福博であい橋(周遊)
概要	チャンネルシティ博多・中洲の屋台・赤煉瓦文化館・ポートレース福岡・ベイサイドプレイス博多など、観光名所を巡る遊覧観光船。ナイトクルーズでは、中洲のネオンを楽しむことができる。

写真提供：株式会社博多マリン観光



『青の洞窟 FUKUOKA』

主催	『青の洞窟 FUKUOKA』実行委員会 (特別協賛：日清フーズ株式会社)
実施期間	2019年9月16日(月・祝)～10月6日(日) (期間限定。2019年に初めて開催)
実施エリア	福岡県福岡市・中洲懸橋
概要	中洲クルーズの期間 限定イベント。中洲懸橋に、『青の洞窟』が「青い滝」となって出現。特別な装飾を施したクルーズ船で「青い滝」が流れる橋をくぐり、福博であい橋からチャンネルシティ・博多湾までの名所を巡る航路で、幻想的でロマンチックなクルージングが楽しめる。



出典：事務局撮影

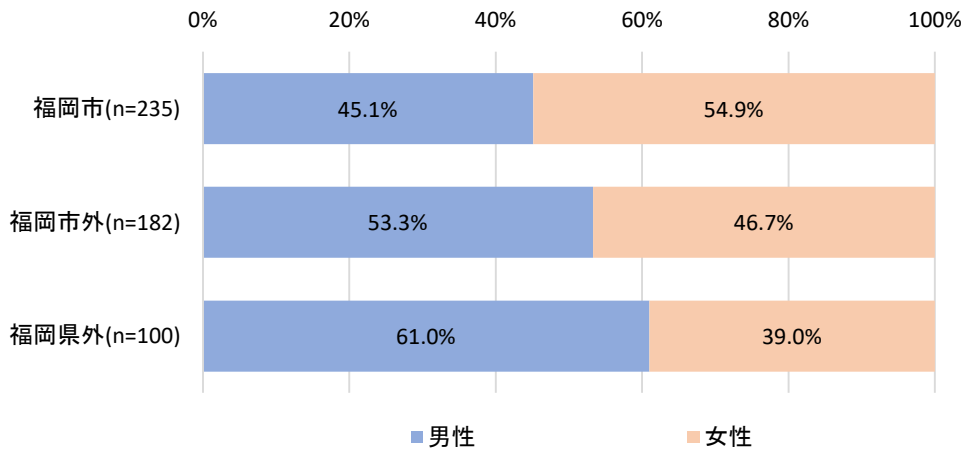
5. 賑わい空間のニーズ把握

1. 調査内容

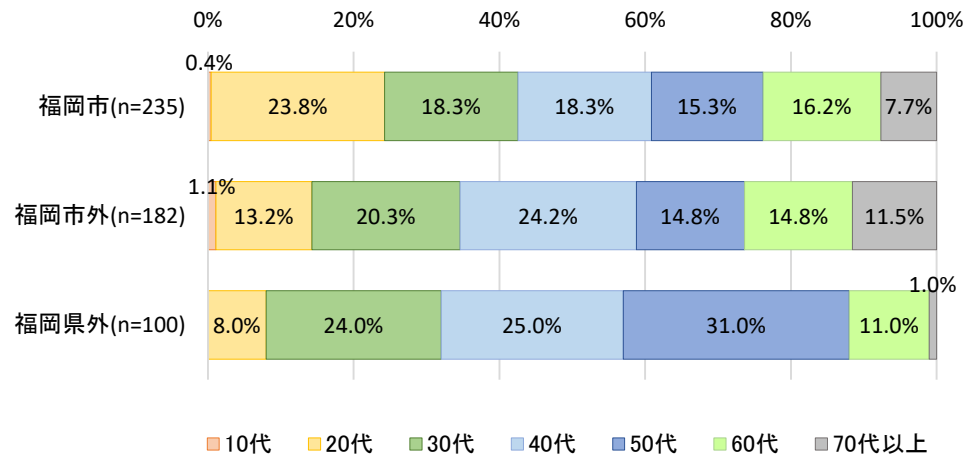
調査	目的	調査項目	対象	実施期間
①WEBアンケート調査	利用者のニーズ把握	※国体道路春吉橋周辺を通行したことがある人を対象に実施 ①福岡都心部の利用状況（利用目的、利用頻度、アクセス手段等） ②賑わい空間創出及びGW試行イベントの認知 ③賑わい空間ができた際のアクセス手段 ④H27提言書における5つのテーマに基づいた賑わい空間活用の方向性（コンセプト）	・福岡市内235票 ・福岡市外182票 ・福岡県外100票	2019年8月25日（日）～9月8日（日）
②まちづくり団体ヒアリング調査	地域（春吉橋で活動を行うもしくは連携）のニーズ把握	①現在の活動内容、活動地区及び課題 ②H27提言書における5つのテーマに基づいた賑わい空間活用の方向性（コンセプト） ③賑わい空間を活用して想定される活動内容	・中洲町連合会 ・We Love 天神 ・博多まちづくり推進協議会 ・春吉校区自治協議会 ・冷泉自治協議会	2019年10月
③周辺店舗ヒアリング調査	周辺店舗への影響把握	①GW試行イベントの影響の有無と内容 ②影響への改善策	・博多移動飲食業組合 ・(株)博多マリン観光	2019年10月
④事業者ヒアリング調査	福岡都心部で運行しているバス・タクシー事業者へのニーズ把握	①観光バスの現状（本数、福岡都心部の運行ルート、駐停・停車箇所）と問題点 ②キャナルシティ博多に駐車した際の観光客の主な訪問先 ③観光客の賑わい空間への立ち寄り可能性 ④駐停車場等に関するニーズ	・西日本鉄道(株) ・西鉄観光バス(株) ・(株)天領バス ・JAPAN HOPE(株) ・タクシー協会	2019年10月

■属性

■性別

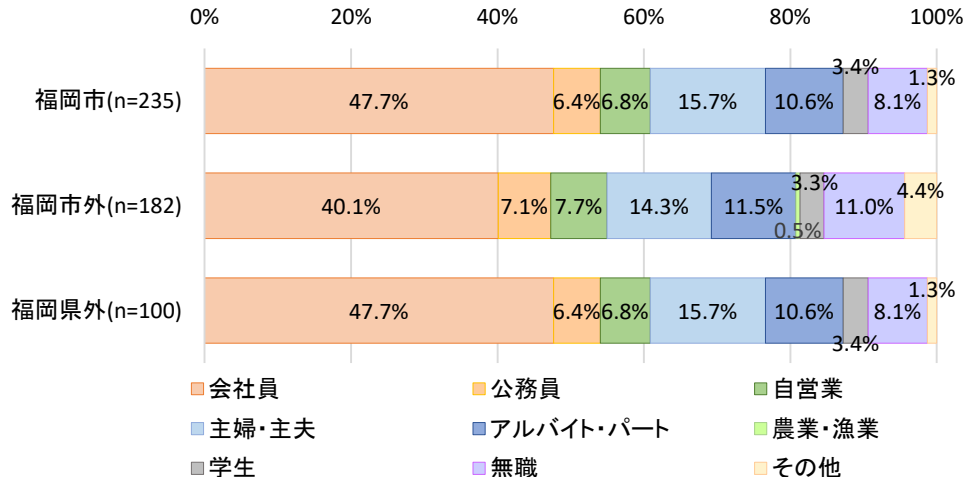
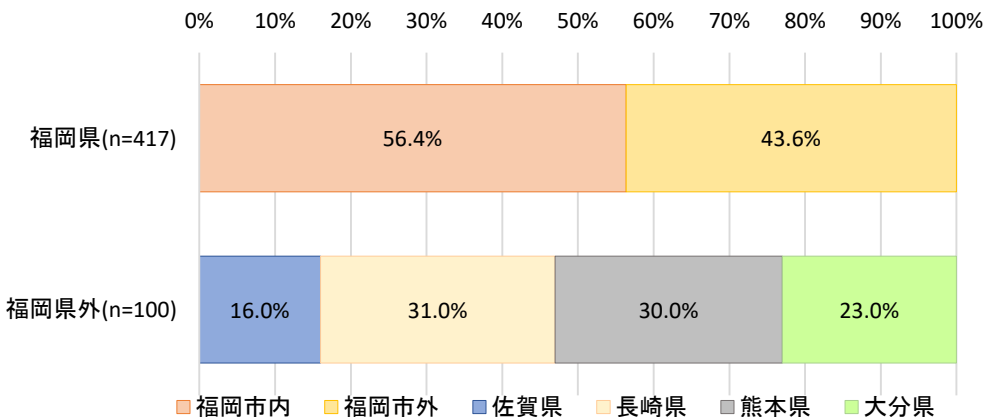


■年代



■お住まい(内訳)

■職業

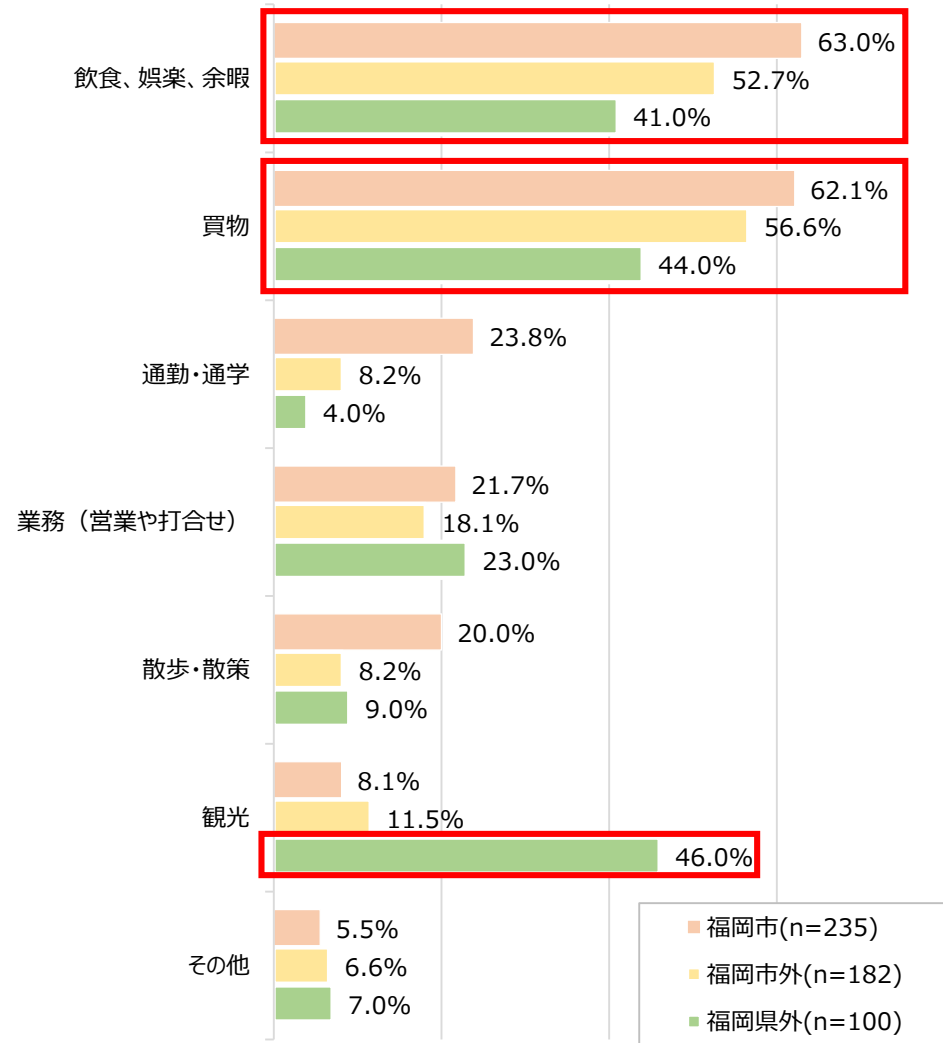


5. 賑わい空間のニーズ把握

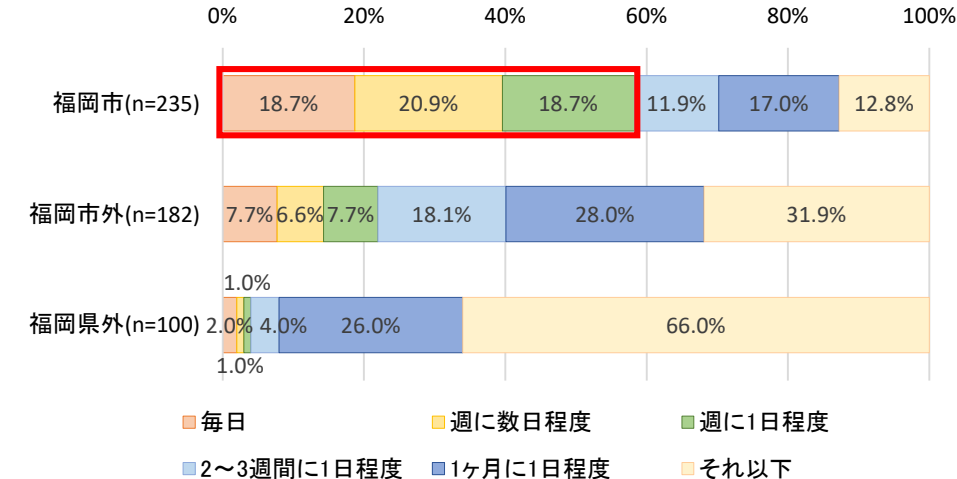
2. WEBアンケート調査結果

- 福岡都心部への訪問目的は「飲食、娯楽、余暇」「買物」が多い。県外からは「観光」も多い。
- 福岡都心部への訪問頻度は、福岡市内の約6割が1回以上／週と高い。
- 福岡都心部への交通手段は、県外など都心部から離れるにつれ、自動車の割合が高い。

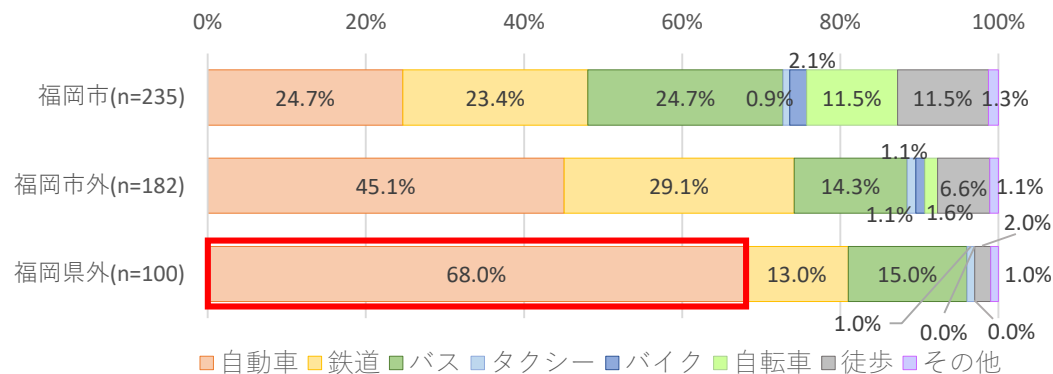
■福岡都心部の訪問目的 問:福岡都心部を訪れた目的は何ですか。(複数回答可)



■福岡都心部を訪れる頻度 問:どれくらいの頻度で福岡都心部を訪れますか。



■福岡都心部までの交通手段 問:福岡都心部を訪れたときの交通手段を教えてください。

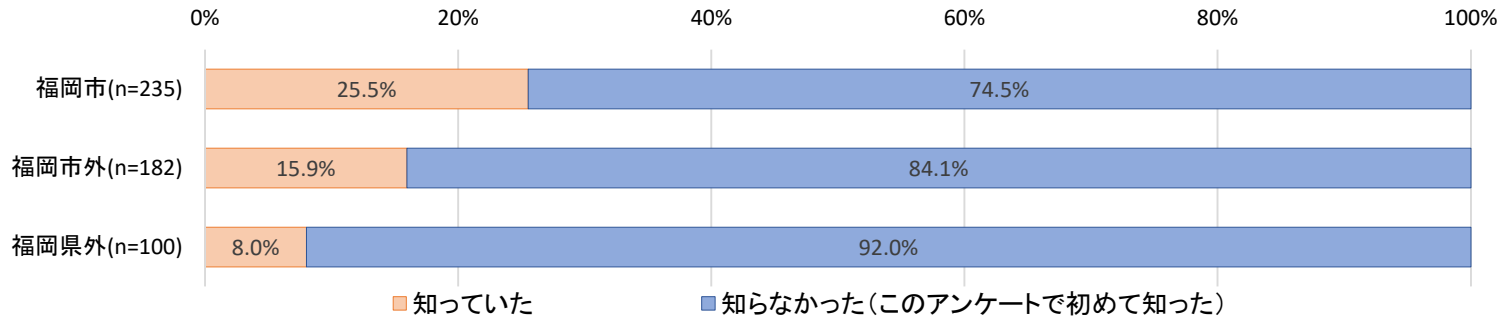


2. WEBアンケート調査結果

- 春吉橋に賑わい空間ができることへの認識は低く、GW試行イベントの認知度も同様に低い。
- 試行イベントの認知度は15~20%程度で、うち約6%が実際に参加している。
- 春吉橋までの交通手段は、県外など都心部から離れるにつれ、自動車の割合が高い。

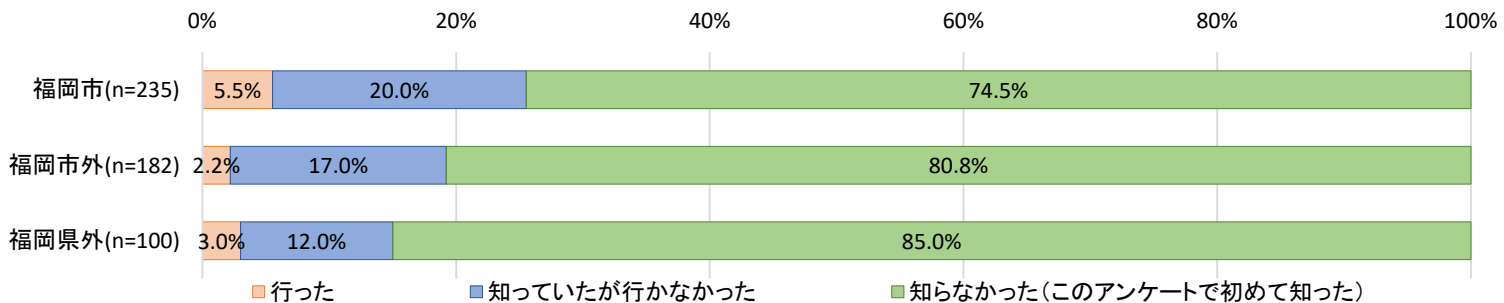
■ 春吉橋に賑わい空間ができることへの認識

問: 春吉橋に、賑わい空間が創出されることをご存じでしたか。



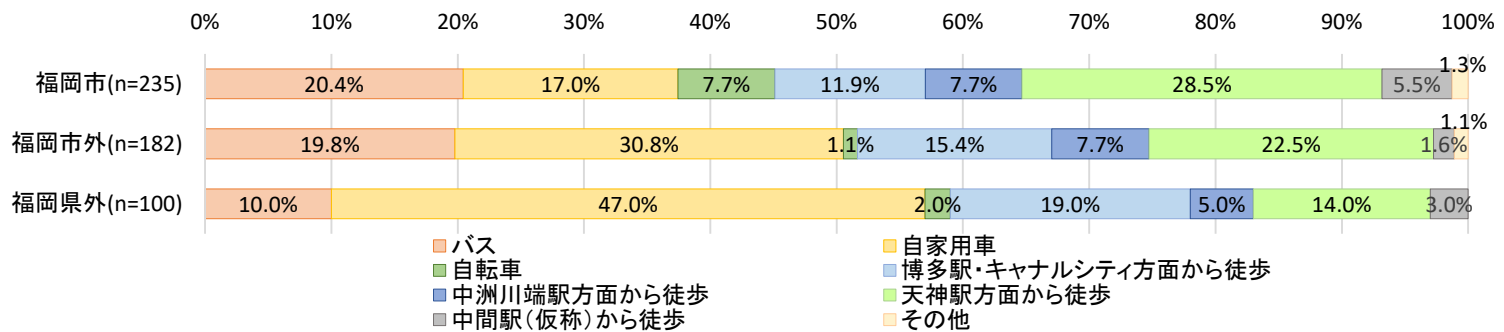
■ GW試行イベントへの参加

問: ゴールデンウィーク期間中、迂回路橋において「令春橋宴祭×千年夜市in春吉橋」を実施しましたが、訪れましたか。



■ 春吉橋までの交通手段(中間駅がある想定で)

問: 春吉橋賑わい空間ができた際、主にどのようにアクセスする事になりますか。(地下鉄七隈線中間駅(仮称)がある想定でご回答ください)



5. 賑わい空間のニーズ把握

2. WEBアンケート調査結果【1/2】

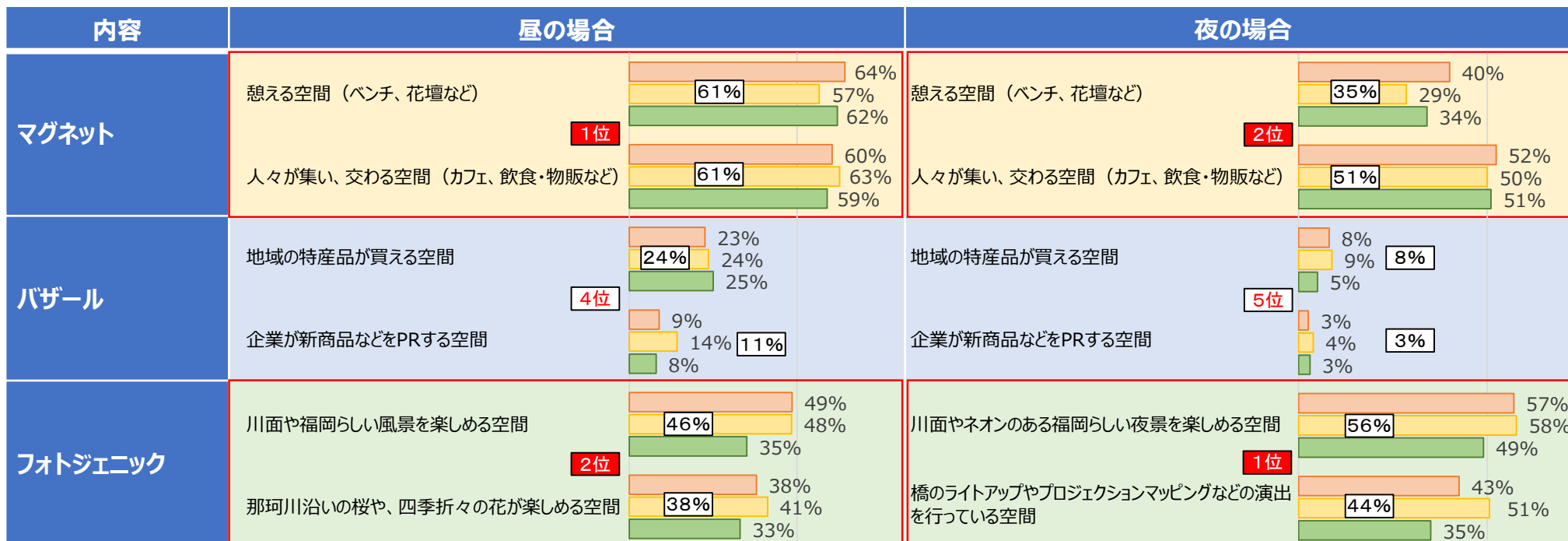
- 昼は「憩える空間(ベンチ、花壇など)」や「人々が集い、交わる空間(カフェ、飲食・物販など)」が期待されている
- 夜は「川面やネオンのある福岡らしい夜景を楽しめる空間」が期待されている

春吉橋に新たに生まれる賑わい空間は、下記の5つをイメージする空間であることが期待されています。

イメージ	どんな空間か
マグネット	都市生活者から観光客まで多くの人々が集い、憩い、交わる空間
バザール	特産物販売や新たなビジネス展開など積極的な賑わいが絶えない空間
フォトジェニック	春吉橋から見る那珂川上流の都市や川面に映る風景を活かした写真を撮りたくなる空間
ソウルフル	中洲や、櫛田神社、春吉の街などへの入口となる空間
エンターテインメント	様々なイベントにより、国内外の多くの人々が楽しめる空間

※H27提言書における5つのテーマ

問:どのような空間が望ましいと思いますか。昼間の場合と夜の場合、それぞれについてお聞かせ下さい(複数回答可)。



■ : 福岡市(n=235) ■ : 福岡市外(n=182) ■ : 福岡県外(n=100)

5. 賑わい空間のニーズ把握

2. WEBアンケート調査結果【2/2】

春吉橋に新たに生まれる賑わい空間は、下記の5つをイメージする空間であることが期待されています。

イメージ	どんな空間か
マグネット	都市生活者から観光客まで多くの人々が集い、憩い、交わる空間
バザール	特産物販売や新たなビジネス展開など積極的な賑わいが絶えない空間
フォトジェニック	春吉橋から見る那珂川上流の都市や川面に映る風景を活かした写真を撮りたくなる空間
ソウルフル	中洲や、櫛田神社、春吉の街などへの入口となる空間
エンターテインメント	様々なイベントにより、国内外の多くの人々が楽しめる空間

※H27提言書における5つのテーマ

問:どのような空間が望ましいと思いますか。昼間の場合と夜の場合、それぞれについてお聞かせ下さい(複数回答可)。

内容	昼の場合	夜の場合
ソウルフル	バスの停留所など、交通発着ができる空間 15% (15%) 15% (15%) 15% (15%) 5位	バスの停留所など、交通発着ができる空間 15% (13%) 13% (13%) 7% (7%) 4位
	観光案内などの情報発信する空間 15% (15%) 13% (15%) 21%	観光案内などの情報発信する空間 9% (10%) 10% (10%) 10%
エンターテインメント	アジアや世界の文化を取り入れた国際的なイベントが行われている空間 17% (18%) 21% (21%) 13%	アジアや世界の文化を取り入れた国際的なイベントが行われている空間 17% (18%) 19% (19%) 18%
	音楽やライブ等のイベントが行われている空間 27% (25%) 23% (23%) 23% (23%) 3位	音楽やライブ等のイベントが行われている空間 39% (37%) 38% (38%) 33%
	祭や行事など地域の催事やイベントを行う空間 28% (27%) 31% (31%) 19%	祭や行事など地域の催事やイベントを行う空間 35% (31%) 29% (29%) 27%
その他	0.4% 1.1% 1.0%	0.4% 0.5% 0.0%

■ : 福岡市(n=235) ■ : 福岡市外(n=182) ■ : 福岡県外(n=100)

5. 賑わい空間のニーズ把握

3. まちづくり団体ヒアリング調査結果(5団体)【1/2】

- 春吉橋周辺における課題としては、「イベントや休憩時のスペースがないこと」「警備面の問題」「ゴミなどのマナーの問題」などの意見がある
- 賑わい空間の望ましいあり方については、「マグネット」「フォトジェニック」に関するものが多くの票を集めている

問:下記の地区においてまちづくりを行うにあたっての課題等があれば、教えてください。

内容	意見
①活動地区における課題等	<ul style="list-style-type: none"> ● 財源の確保、人材の確保・育成 ● 客引き対策 ● 案内所対策の取り組み ● 違法駐輪対策、店舗従業員への指導 ● スペースがない
②春吉橋周辺における課題等	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺道路の歩行空間が狭い ● イベントや休憩に向けた、まとまった場所がない。 ● 時間帯により、渋滞の発生 ● 警備面が問題 ● 道路占用許可は博多区、中央区両方に申請が必要で大変

問:どのような空間が望ましいと思いますか。昼間の場合と夜の場合、それぞれについてお聞かせ下さい(複数回答可)。

内容	昼の場合	票数	夜の場合	票数
マグネット	①憩える空間（ベンチ、花壇など）	5	①憩える空間（ベンチ、花壇など）	3
	②人々が集い、交わる空間（カフェ、飲食・物販など）	4	②人々が集い、交わる空間（カフェ、飲食・物販など）	4
バザール	③地域の特産品が買える空間	1	③地域の特産品が買える空間	1
	④企業が新商品などをPRする空間	1	④企業が新商品などをPRする空間	1
フォトジェニック	⑤川面や福岡らしい風景を楽しめる空間	3	⑤川面やネオンのある福岡らしい夜景を楽しめる空間	4
	⑥那珂川沿いの桜や、四季折々の花を楽しめる空間	4	⑥橋のライトアップやプロジェクションマッピングなどの演出を行っている空間	3
ソウルフル	⑦バスの停留所など、交通発着ができる空間	1	⑦バスの停留所など、交通発着ができる空間	0
	⑧観光案内などの情報発信する空間	3	⑧観光案内などの情報発信する空間	2
エンターテイメント	⑨アジアや世界の文化を取り入れた国際的なイベントが行われている空間	2	⑨アジアや世界の文化を取り入れた国際的なイベントが行われている空間	2
	⑩音楽やライブ等のイベントが行われている空間	3	⑩音楽やライブ等のイベントが行われている空間	3
	⑪祭や行事など地域の催事やイベントを行う空間	3	⑪祭や行事など地域の催事やイベントを行う空間	3
その他	⑫その他	0	⑫その他	0

5. 賑わい空間のニーズ把握

3. まちづくり団体ヒアリング調査結果(5団体)【2/2】

- 賑わい空間の使われ方としては、「日中は憩う場」「夜はインバウンド対応」「地域の行事を行い、経済効果を押し上げることも必要」などの意見がある
- 賑わい空間を活用する場合の想定としては、「地域の祭りでの活用」「自らが主催するイベント等での活用」などの意見がある
- その他留意事項としては、「バリアフリー対策や多言語対応」「屋台との共存共栄」「運用ルールの策定」などの意見がある

問：春吉橋賑わい空間について、春吉橋周辺の課題や賑わい空間のイメージを踏まえ、どのような使われ方が望ましいと思いますか。

内容	意見
使われ方	<ul style="list-style-type: none"> ● 日中は憩う場としてベンチや屋根などの仕器があると良い ● 歩行者天国のように、ゆっくりとくつろげる空間 ● 中洲ジャズのような人が集まるようにしたい ● 清流公園から川沿いに花壇が植えられ、橋へと導くような、花うえ運動とのタイアップ ● 夜は、インバウンドに対応したものと良い ● 地域の祭、行事等を行い、地域周辺の経済効果を押し上げられる事も必要で、周辺店舗とリンクさせる ● 常に何かがある（ここにしかないもの、楽しめるもの、出会い等）ワクワクさせる印象を持たせる ● この空間も屋台が常設になる、というのは避けて欲しい ● 人が憩える空間 ● ベンチや花壇を設置し、人が憩える空間
	<ul style="list-style-type: none"> ● 案内サイン等で“博多と天神を結ぶ場”ということがわかると良い（歩行を促す） ● サイン等の観光案内機能 ● 回遊を促すものが必要 ● 地域の祭、行事等を行い、地域周辺の経済効果を押し上げられる事も必要で、周辺店舗とリンクさせる（再掲） ● 周辺の校区と連携していくべき（全体で） ● 場所が良いので、夜遅くまで賑わいがあっても良い ● 単発のイベントが続く場ではなく、連続して行われてほしい ● パフォーマンスなどが行われると良い ● 常に何かがある（ここにしかないもの、楽しめるもの、出会い等）ワクワクさせる印象を持たせる（再掲） ● 橋のライトアップやプロジェクトマッピング等を行える空間

問：もし貴団体等が賑わい空間を活用する場合は、どのような使い方が想定されますか。

内容	意見
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ● 天神地区まで歩行者が回遊するための憩いの場 ● 博多と天神の中心に位置する場所なので、博多まちづくり推進協議会と連携してイベント等が実施できるのが望ましい
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のお祭りでの活用。 ● 中洲まつり、中洲ジャズ等、中洲町連合会主催によるイベント等での利用

問：その他、賑わい空間のあり方を検討するうえで留意すべき事項があれば教えてください。

内容	意見
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 福岡都心部の中央に位置することから、多種多様な方々が訪れる場所であるため、バリアフリー対策や、多言語化は必要であると思う ● インバウンド対策（多言語表記） ● スケボー、クロスバイク、ストリートミュージックへの対応は事前しておくべき ● イベント以外の使い方やイベントが無いときのルール作り、空間整備（日よけ）なども必要 ● 若い人たちの考えをとり入れた方が良い ● 屋台客の取り合いとならず、屋台との相乗効果が発揮できればと思う。（屋台との共存共栄）
	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ収集や灰皿の設置は必要。 ● トイレの設置または、近隣トイレ（中洲懸橋）のリニューアル ● トイレ清掃を徹底し、清潔感を保つ ● 民業圧迫になるようなものは行わない ● 「地域の特産品が買える空間」として使用しない。PRはOKだが購入は他の各店舗で ● 物販は行わない。 ● 管理者（団体等）の選定基準の設定 ● 例えば、出店者や出資者等、個人であれ団体であれ、暴排条例に則して許可の可否

5. 賑わい空間のニーズ把握

4. 周辺店舗ヒアリング調査結果

- 試行イベント期間中はゴールデンウィーク中であったこともあり、そもそも人通りが多い状況だったが、試行イベントによりにぎやかさがプラスされたなどの意見がある
- より良くするために、ライトアップや春吉橋自体を写真に映えるようにしてほしいなどの意見がある
- 一方で、ゴミ問題や売上低下など悪い影響が見られたため、ゴミ箱の設置・回収の徹底や取り締まり、屋台との共存が求められている

問：イベントの実施により、「影響等があった」と答えた場合、どのような影響があったかお聞かせください。

内容	良い影響	悪い影響
試行イベント時の影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 特段、普段と変わりなかった。GWなので、そもそも人が多い状況だった ● にぎやかさがプラスだった ● 橋の上から手をふってくれる方がいた ● インスタスポット（オブジェ）×店舗が連携すると効果が大い ● イベント中、人通りが増えたが、いいことは特にな 	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食を出すならトイレが必須である。現在、春吉橋周辺にあるものだけでは不足 ● イベント時はとても汚れるため清掃が必要 ● ゴミへの対応も必要 ● イベントで飲んで、コップを持ったまま酔っ払いが屋台に来て迷惑だった ● 売り上げが落ちた（現清流公園でのイベントの影響も受けている）
改善策など	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在行っている「青の洞窟」は非常に人気が高く、稼働率100%（普段の平日は18%程度で夜間は25～30%程度） ● 沿道にも人が集まり、年中通して人が集まるようにしたい ● 橋自体を写真に映えるスポットにほしい ● 今は春吉橋と聞いてもどこの橋かピンとこないが、インパクトがあり誰もがわかるような橋にほしい ● キャナル等的那珂川の夜景が写真に映え、それを撮るのでなく、キャナルから春吉橋を撮りたくなるような場所 ● ライトアップ（夜間に写真映えする） ● インスタ映えするスポットと周辺店舗の相乗効果が期待される ● 船のバス停を設置してほしい。常設の栈橋がなくても、タラップ式等で乗船できるシステムが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに観光案内がないため、業務中に道や施設を聞かれる事が多く、観光案内所等を設置してほしい ● 中洲の横だが、中洲はどこかと聞かれることもある ● 観光案内機能を設置するのであれば、外国人に優しいつくりしてほしい ● ゴミ箱の設置・回収の徹底、取り締まり ● 飲食は屋台と被るので、食べ物であれば種類を絞ることや、飲食以外のイベント（お笑いイベント等）を実施するのはどうか ● 若者向けの広場利用・整備（スケボーなど） ● アルコールは屋台とかぶることや、酔っ払った客が屋台に流れ込んでくる状況を避けたいので極力提供を控えてほしい（中洲ジャズは、その場で飲んで下さいと声掛けしているため、屋台にお酒を持ったまま人が来なくて助かっている） ● 飲食物の値段設定のルール策定（屋台との共存） ● 飲食イベントを行うのであれば、屋台に準じて時間を17～25時として欲しい（屋台は出店時間が決まっており17時から） ● トイレの設置

5. 賑わい空間のニーズ把握

5. 事業者ヒアリング調査結果

- 路線バス事業者からは、春吉橋への要望は特になかった
- 観光バス事業者からは春吉橋にバス乗降のためのバス停カートの設置が求められているが、国体道路の混雑等が懸念されている
- タクシー事業者からは、タクシー乗り場の設置が求められている

問：現在の運行状況における問題点及び円滑・安全なバスの運行を実現するため、国体道路に必要な機能について教えてください。

内容	路線バス	観光バス	タクシー
運行上の問題点	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 天神周辺は渋滞しており、あまり利用できないため、メインコースから外している ● FITなど個人向けツアーなら対応できると思う ● 観光客の集合スペースがない ● 人が集まっているとクレームがくる ● 国体道路は非常に混雑しているからなるべく利用しない ● バスの乗降場が少ないため、バスカートがあると良い ● 2台停車すると、100名くらいが乗降することになるので、それくらいの人数が待機できる場所が必要 ● 乗降のみの場合、バス停車時間は5～10分程度 ● 観光バスが路上に停まっていると乗降に時間を要し、通常バスの運行にも支障をきたす 	-
必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスのバス停は周辺で担っており、新たに春吉橋周辺には不要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 春吉橋にバスカートがあると良い ● バスだけでなく、普通車もとめられると良い（FITだと、大型バスだけでなくアルファードなど大型の普通車を使う場合もあるため） ● 観光バスは乗降に時間がかかり、特にインバウンドの観光客は時間を守らないので、バスが長時間とどまることになることから、予約制にして規制をするなどの対策が必須（キャナルシティでは、ショットガン方式を採用している） ● クルーズ対応のバス事業者は、一度に50～最大100台のバスが動くため、1～2台程度のバスカートでは対応できない ● 集合場所として活用するのに説明しやすいところ（視認性や特徴が顕著）だとありがたい ● イベント等を見られるベンチなどがあると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ● タクシー待ちスペース、タクシー乗り場、バス停のカート（バスが完全に収まるスペースの確保） ● 春吉橋の仮橋（19～翌日2時の間）にタクシー乗り場が必要

6. 賑わい空間の方向性

H27提言書における5つのテーマ

マグネット

バザール

フォトジェニック

ソウルフル

エンターテイメント

5つのテーマを基にした望ましいと思われる空間（WEBアンケート、まちづくり団体）

昼の場合					WEBアンケート まちづくり団体	夜の場合				
マグネット	バザール	フォトジェニック	ソウルフル	エンターテイメント		マグネット	バザール	フォトジェニック	ソウルフル	エンターテイメント
1位	4位	2位	5位	3位		2位	5位	1位	4位	3位
1位	5位	2位	4位	3位		1位	4位	1位	4位	3位

調査結果をもとに、昼と夜を特徴づけるイメージを整理

	昼の場合	夜の場合
方向性	博多～中洲～天神エリアの回遊拠点 【マグネット】【フォトジェニック】【エンターテイメント】	中洲の雰囲気と調和した賑わいの発信源 【マグネット】【フォトジェニック】【エンターテイメント】
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 街歩きを誘発する磁場として、人々が集い、憩い、交わる空間 水辺景観と福岡の景色を楽しむ空間 賑わいを生み出す核となる、多様なイベントが開催される空間 	<ul style="list-style-type: none"> 人々が夜景を楽しみ、集い、憩い、交わる空間 景観を楽しむと共に、橋そのものが中洲の代表景を引き立てる空間 賑わいを生み出す核となる、多様なイベントが開催される空間

各団体からの主な意見

	昼の場合	夜の場合
使われ方や機能など	<ul style="list-style-type: none"> 憩う場所としてベンチや屋根、花壇 橋自体が写真映えるインパクトのあるスポット 観光客用のバス停カット 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドに対応したもの ライトアップやプロジェクトマッピング タクシー乗り場
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や祭り、まちづくり団体等の主催イベントの開催、サイン等による観光案内機能（昼夜共通） ゴミや不適切利用などのマナーの問題、警備の問題、バリアフリー対応や多言語対応、屋台との共存共栄など 	

7. 方向性を踏まえたテーマ毎のイメージ

昼の場合

博多～中洲～天神エリアの回遊拠点

昼：街歩きを誘発する磁場として、人々が集い、憩い、交わる空間

- 街なかで憩い、安らげる休憩機能（ベンチ等）



出典：事務局撮影



マグネットのイメージ【ニューヨーク：ハイライン】

- かつての高架貨物鉄道の廃線跡地を空中公園（全長約2km）として整備

- ハイラインにはベンチ、展望スペースなどが設置されており、憩いの場となっている
- ハイラインが呼び水となって周辺の再開発を誘発し、不動産価値の向上にも寄与している

昼：水辺景観と福岡の景色を楽しむ空間

- 那珂川の水面と川沿いの自然や風景を眺められる視点場としての機能



フォトジェニックのイメージ【大阪市：北浜テラス】

- 川床が常設され、土佐堀川とその対岸の景色を楽しむテラスを活用したカフェや店舗などが充実したエリア



出典：国土交通省「河川空間のオープン化活用事例集」（令和元年8月）

夜の場合

中洲の雰囲気と調和した賑わいの発信源

夜：人々が夜景を楽しみ、集い、憩い、交わる空間

- 夜間景観を楽しめる場所への休憩機能（ベンチ等）
- 夜間景観を楽しみながら飲食のできる空間



写真提供：福岡市 出典：まるごと福岡・博多
(<https://showcase.city.fukuoka.lg.jp/>)



出典：事務局撮影

マグネットのイメージ【博多駅前広場】

- 博多駅前広場では、観光PRイベントに加え、学校や地域などの演奏会・発表会、イベント等が昼夜問わず開催されている
- 休憩機能（ベンチ等）、飲食のできる空間があり、観光客も含め多くの人で賑わっている

夜：景観を楽しむとともに、橋そのものが中洲の代表景を引き立てる空間

- 中洲のネオン風景を眺められる視点場としての機能
- あわせて春吉橋及び賑わい空間そのものが景観を引き立てるよう、デザインやライトアップ等で空間を演出



整備前

©NYDOT

資料提供：GehlArchitect

フォトジェニックのイメージ

【ニューヨーク：タイムズスクエア】

- 「世界の交差点」とも呼ばれる、ニューヨークの代表景の一つ
- 周囲の広告（ネオン）そのものが景観を構成する要素となっている
- 広場中央には階段席が備えられ、撮影スポットとしても機能している



整備後

7. 方向性を踏まえたテーマ毎のイメージ

昼の場合

博多～中洲～天神エリアの回遊拠点

夜の場合

中洲の雰囲気と調和した賑わいの発信源

昼・夜：賑わいを生み出す核となる、多様なイベントが開催される空間

- 中洲や屋台といった地域性を活かしたイベントの開催
- 夜は来訪者のナイトライフを充実させ、地域経済のさらなる活性化にも寄与



写真提供：We Love天神協議会



写真提供：福岡市



写真提供：福岡市

エンターテインメントのイメージ
【福岡市役所西側ふれあい広場】

- 野外ステージ屋根、移動式ステージを備えた人工芝の広場であり、様々なイベントが開催される
- 福岡市が利用しない期間は、民間事業者が広場でイベントを開催することができ、民間事業者（We Love天神共同企業体）が運営を実施

昼・夜：人間ささや界隈性にあふれる中洲や春吉の街への入り口として機能する空間

- バス乗降所等の交通結節機能
- 来訪者の回遊を支援する観光案内機能



出典：事務局撮影



ソウルフル

ソウルフルのイメージ

【出島表門橋公園観光バス乗降場】

- 国指定史跡の出島に新たに架橋された歩道橋（出島表門橋）に合わせて、出島対岸の水辺沿いの公園として2017年11月に整備された
- 公園には屋根付きスペースや休憩ベンチ等設置され、観光バスの乗降スペースを整備し、イベントも開催されている

バザール



バザールのイメージ

【バンコク：ナイトバザール】

- タイでは夜になると大通りを中心に屋台が並んで出店するバザールが出現し、飲食やショッピングを楽しむことができる

※昼と夜でテーマを区切るものではなく、各テーマを特に際立たせるイメージとして、昼・夜それぞれの場合で記載するものです。各テーマは昼・夜関係なく、相互に連携しあう賑わい空間を想定します。また、各テーマのイメージは、あくまでイメージであり、活用を固定するものではありません。

エンターテインメント

8. 今後の賑わい空間のあり方検討方針(案)

調査

春吉橋周辺の特徴

①現況の道路交通課題把握

歩行者：歩行者量・ODからみた春吉橋の利用特性、歩行空間のサービス性からみた課題
 自動車：春吉橋の利用特性（通過・発着OD）からみた課題
 バス：バス停車等による課題

②賑わい空間のニーズ把握

市民等：賑わい空間の望ましいイメージ
 まちづくり団体：春吉橋周辺の課題、賑わい空間の望ましいイメージ、賑わい空間の活用可能性、賑わい空間活用時の配慮事項
 周辺店舗：試行イベントの影響及び改善策

③事業者からみた課題把握

・バス、タクシー事業者が抱える国体道路の課題とニーズ

補足調査・手法

○交通実態調査

・歩行者、自動車交通量調査
 ※国体道路の調査結果を活用

○意向調査

・福岡市民等（WEBアンケート）
 ・地元まちづくり団体（聞き取り）
 ・周辺店舗（聞き取り）
 ・バス事業者等（聞き取り）

第2回検討会 春吉橋賑わい空間のあり方検討

賑わい空間の方向性

・ニーズ把握を踏まえた賑わい空間の方向性
 ・方向性を踏まえたテーマ毎のイメージ

調査

民間サウンディング調査

・賑わい空間の活用方策、運営上の配慮事項、事業手法、実現に向けた課題などの把握

○民間サウンディング調査

・賑わい空間の活用に対する意見、関心度合、意見・修正点の把握
 ・架替橋梁を用いた空間であることを踏まえ、メンテナンスコストも考慮したモデルの発案など

第3回検討会 春吉橋賑わい空間のあり方検討

民間サウンディング結果を踏まえた賑わい空間のあり方検討

・民間サウンディング調査結果を踏まえた、賑わい空間の方向性、導入機能などの検討

第4回検討会 春吉橋賑わい空間のあり方検討

賑わい空間の活用方針(案)

・空間の使われ方、導入が望ましい機能、持続可能な運営の検討

賑わい空間の景観検討

・国体道路と調和した賑わい空間に相応しい景観コンセプトの検討

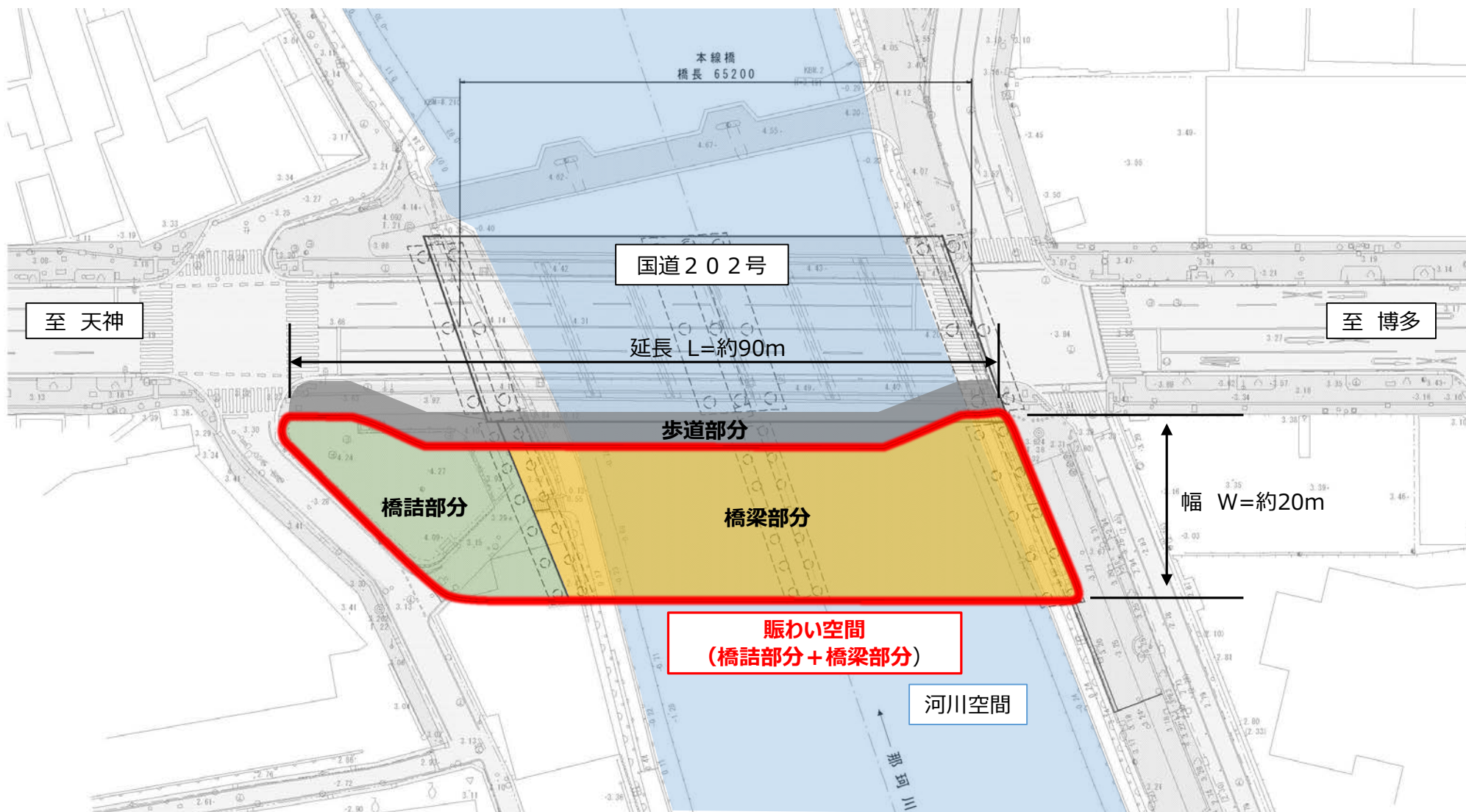
9. 民間サウンディング(案)

サウンディング調査の実施概要(素案)【令和2年度実施予定】

項目	概要
前提条件	<ul style="list-style-type: none"> 賑わい空間の範囲、事業手法、施設の設置条件などを関係機関と調整した上で提示。
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度秋頃。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 公募型サウンディング調査。 HP上に募集要領を公表し、応募のあった民間事業者等からヒアリングを実施。 調査結果の概要は、民間ノウハウの保護に配慮したうえで、HPに公表予定。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 全国の企業、団体、大学等を対象（イベント企画運営業者、ディベロッパー、飲食・物販事業者、広告代理店、維持管理事業者など）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 賑わい空間の活用の方向性（導入機能（民間設置含む）、事業期間等） 事業内容について（設置する施設、管理・運営の体制、賑わい創出イベントの位置付け・内容・頻度ほか） 事業性 隣接する国体道路との一体的な質の高い空間づくりに向けた提案 橋梁上の空間であることを踏まえ、メンテナンスに係る負担の範囲や内容の提案 実現に向けた課題（運営上の課題、関係法令、条例等） 関心度合 など
その他	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式を考慮した提案でも可

9. 民間サウンディング(案)

賑わい空間の範囲



※国道202号本線部分と賑わい空間部分は一連で繋がります。
 ※賑わい空間の範囲については、今後変更になる可能性もある

【参考】事例紹介 [公園事例]北九州市勝山橋

- 春吉橋と同様、橋上の公園区域で賑わい創出。
- オープンカフェ、夜市、イルミネーションなど多彩なイベントを実施(市の主催・共催の非営利イベントが主)。
- ルーフ、上下水道・電気、パラソル支柱差込口など、イベントを実施しやすい工夫。

【事業概要】

- ・上流側の歩道を18mと広幅員にして架替え(橋長88m)
- ・うち16mを勝山公園として公園に指定

【導入機能・施設】

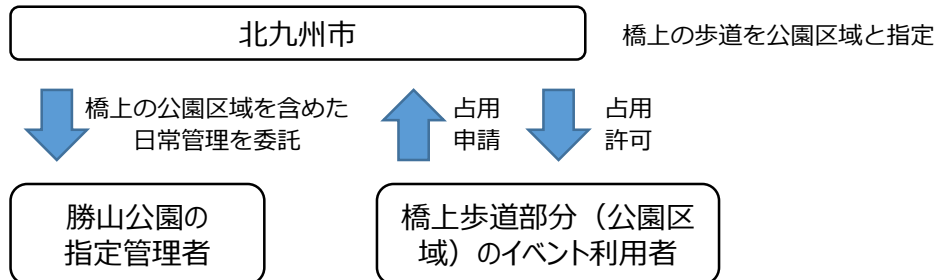
- ・太陽光発電ルーフ
- ・上下水道・電気設備
- ・パラソル支柱差込口

【空間利活用方策】

- ・オープンカフェ、夜市、マルシェ、イルミネーション、アート市等



【事業の枠組み】



【参考】事例紹介 【公園事例】広島市水辺のオープンカフェ

- 河岸緑地(都市公園区域内)において店舗を設置しオープンカフェを実施。
- 河川占用許可準則の特例を適用し、社会実験として展開。
- 年間約22万人の賑わいを創出。

【事業概要】

- 「水の都ひろしま推進協議会」が河川の占用主体となり、民間事業者を公募
- 京橋川で8店舗、元安川で1店舗が営業
- 全店舗を合わせると、年間で約22万人の来店者

【導入機能・施設】

- オープンカフェ（独立店舗型）
- オープンカフェ（地先利用型）

【空間利活用方策】

- 水辺のコンサートの実施・支援

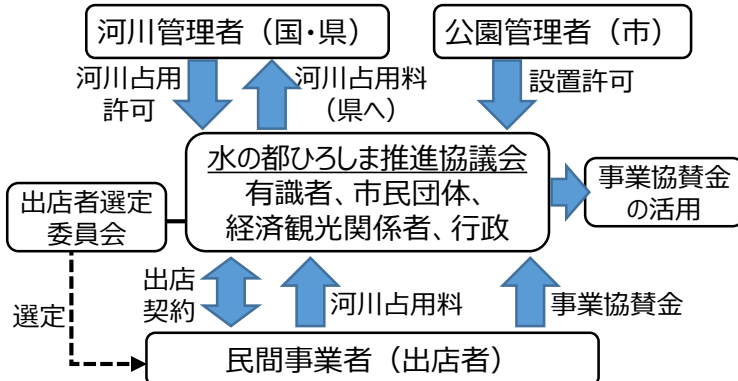


出典：国土交通省資料



出典：広島市

【事業の枠組み】



【参考】事例紹介 [公園事例]東京都豊島区南池袋公園

- 公園の再整備と併せ、公園及び周辺地域に恒常的な賑わいを創出し、地域の活性化を図るため、公募により、カフェレストランを運営する者を公募。
- カフェレストランを運営する民間事業者は、地域還元費用として売上の一部(売上の0.5%)を「南池袋公園をよくする会」(南池袋公園の運営について、行政と地域とが協働しながら公園空間の良好な保全と健全な賑わいを創出し、地域の活性化を図る事を目的とした会)に寄付し、イベント開催経費等に活用されている。

【事業概要】

- 公園再整備により平成28年4月に開園
- 豊島区が整備し維持管理(同一建物内のトイレ清掃等、維持管理の一部はカフェレストラン事業者が担う)
- 民間事業者が豊島区から都市公園法に基づく公園の設置等許可を受け、カフェレストランを運営
- 「南池袋公園をよくする会」がイベント等を実施

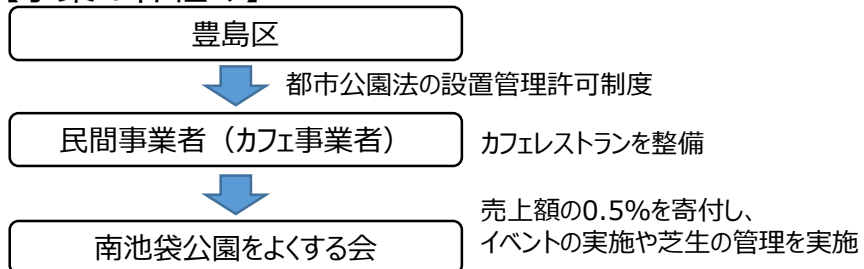
【導入機能・施設】

- 芝生広場
- 災害トイレなどの防災機能
- カフェ・レストラン

【空間利活用方策】

- マルシェ、映画鑑賞会など

【事業の枠組み】



- 道路空間を活用した賑わい空間創出。
- バーベキュー及びカフェ等を営むが、公共スペースとして誰でも立ち寄ることができる場所であることを基本としている。
- 国有財産である道路空間を浪速区が道路占用許可を受け、民間事業者が道路占用許可の土地使用権利行使について浪速区と契約した。

【事業概要】

- 御堂筋共同溝立杭工事完了後の道路空間活用事業
- 大阪市浪速区が大阪国道事務所から道路占用許可を受けた後、民間事業者（公募型プロポーザル方式により募集・決定）が浪速区と道路占用許可による土地使用権利行使にかかる契約を締結のうえ、整備・活用

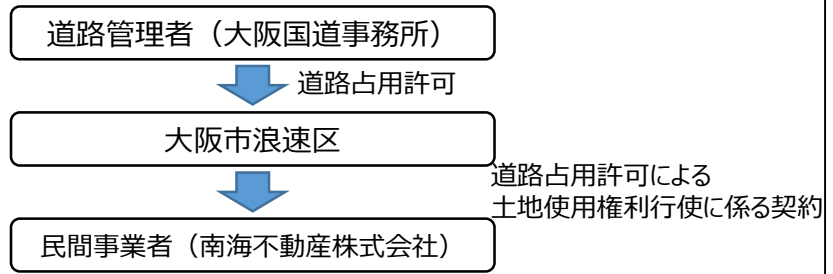
【導入機能・施設】

- 駐輪場
- キッチン、トイレ（トレーラーハウス）
- バーベキューテラス、オープンカフェ

【空間利活用方策】

- 公共スペース、バーベキュー、カフェ等

【事業の枠組み】



出典：大阪市ホームページ
<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/naniwa/0000406610.html>



出典：大阪市浪速区役所

【参考】事例紹介 [公園事例]福岡県福岡市水上公園

- 水辺の公園区域に飲食店(店舗)を、都市公園法第5条の設置管理許可により整備した事例。
- 博多どんたくの会場や博多祇園山笠の観覧場としても活用され、福岡市の賑わい創出にも寄与。
- その他、ナイトパークヨガなど民間事業者の創意工夫による賑わい創出。

【事業概要】

- 公園の計画から整備・管理運営までを一貫して民間活力を導入しながら水上公園の再整備を実施。
平成28年7月供用開始

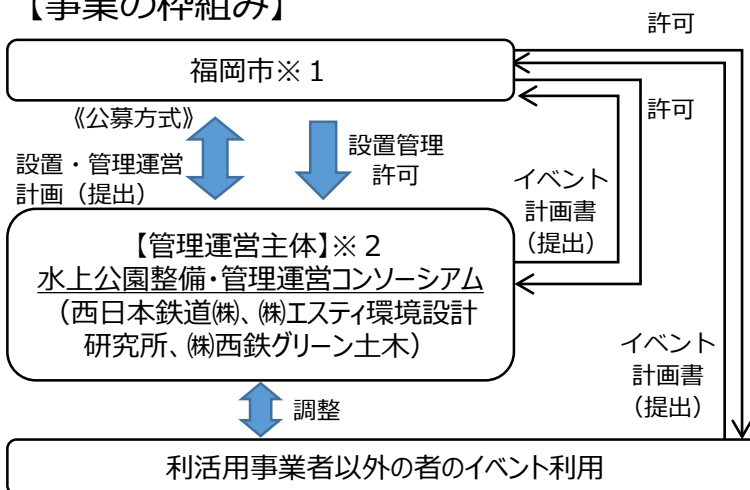
【導入機能・施設】

- 2階建て休養施設(飲食店2店舗)
- イベントスペース(休養施設屋根上部分) ※施設利用者以外も利用可能

【空間利活用方策】

- 博多祇園山笠の会場、音楽イベント等

【事業の枠組み】



※1：公設民営の公園部分の整備は福岡市が実施

※2：公園全体のトータルデザイン及び民設民営の休養施設の整備・運営、公設民営の公園部分の管理運営を実施



ナイトパークヨガ (Night Park Yoga)



Suijo Park Christmas Nights 2017

水上公園のクリスマス
2017年12月21-22日(水・金)
18:00 - 21:00

クリスマスの夜、川辺に集めて癒しの光、音楽とホットコーヒーが温かさを演出します。



クリスマスイベント (Christmas Event)



出典：福岡市水上公園HP(<http://suijo-park.jp>)

- 市が、ペDESTリアンデッキ(道路)の道路区域の一部を変更(除外)し、広場運用基準を定め試験的に設置。
- あそべるとよた推進協議会が、飲食施設兼広場管理者の常設、イベント使用の窓口となり運用。
- 市民が、パブリックビューイング、音楽事業等を実施し広場を活用。

【事業概要】

- 豊田市駅及び新豊田駅間に架けたペDESTリアンデッキ(道路)の一部を広場に変更
- 市が広場を設置し、利用者はあそべるとよた推進協議会に申請を行い許可を得て利活用を行う

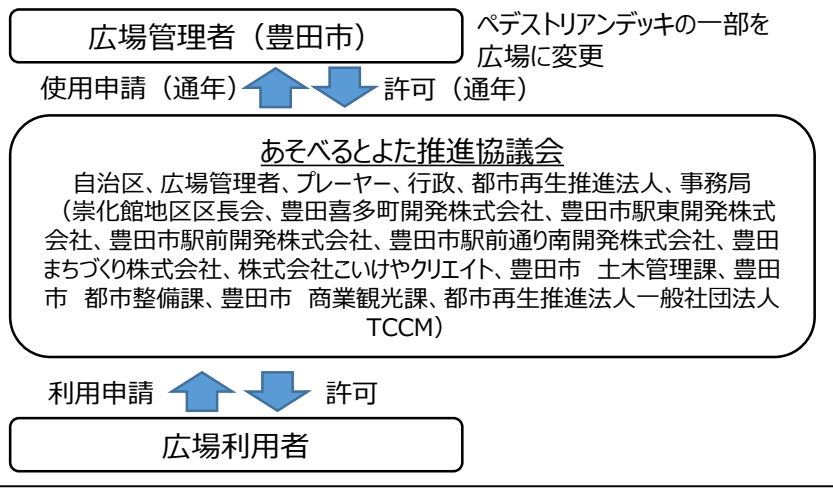
【導入機能・施設】

- コンテナ(飲食施設)、電気や水等のインフラ

【空間利活用方策】

- 飲食事業、パブリックビューイング、音楽祭等

【事業の枠組み】



- 大規模複合施設「渋谷ストリーム」のエンタランスとして合わせて整備。
- レンタルスペースとして事業者への貸し出しを実施。
- 河川占用については、都市・地域再生等利用区域に指定を受けている。

【事業概要】

- 平成30年秋に開業した大規模複合施設「渋谷ストリーム」と合わせて整備
- 河川空間のオープン化の特例を活用。河川管理者（区）から渋谷区が占用許可を受け、施設使用者（民間事業者）と施設使用契約を締結

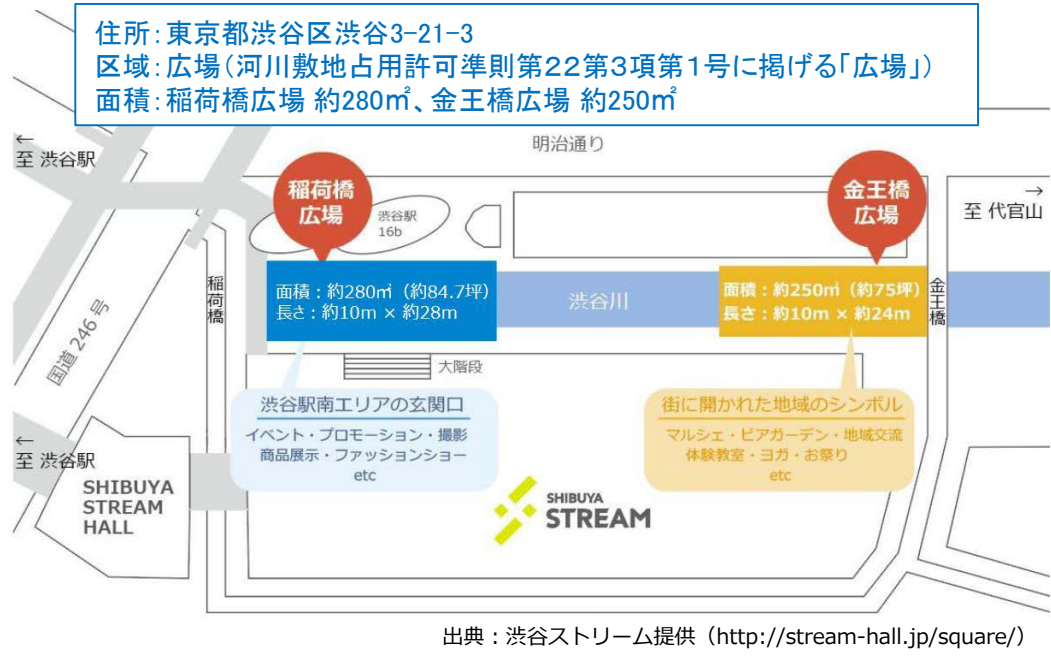
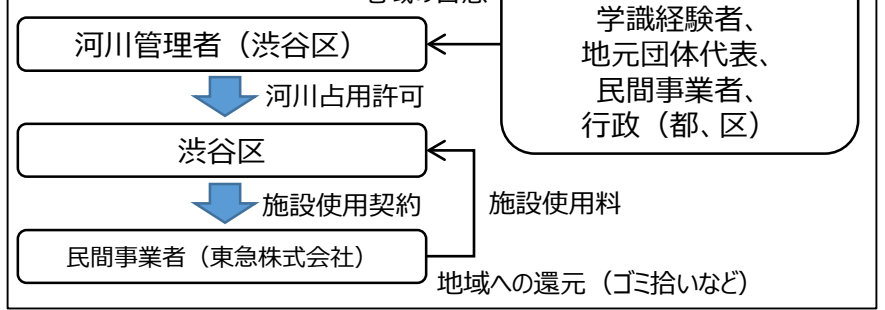
【導入機能・施設】

- ケーブルピット、テナントアンカー、パラソルアンカー、イベント用電源盤、給排水

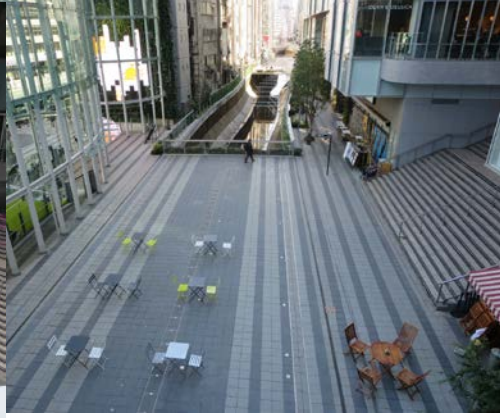
【空間利活用方策】

- 稲荷橋広場：商品展示、ファッションショー等
- 金王橋広場：マルシェ、ビアガーデン、お祭り等

【事業の枠組み】



©渋谷ストリーム（事務局撮影）



©渋谷ストリーム（事務局撮影）

- 都市再生整備計画の提案により、道路占用許可の特例制度を利用した、全国初の国道常設の商業施設。
- カフェや軽食販売、アートワークの展示・物販を基本として、あわせてワークショップやミニセミナー、企業プロモーションなど、様々な用途への対応が可能。

【事業概要】

- 都市再生整備推進法人制度を活用し、都市再生推進法人である札幌大通まちづくり株式会社が整備・運営
- 札幌市による路面電車のループ化（平成27年12月）を見据えて、「人の交流と新たな賑わいづくり」をテーマに多目的施設として誕生。

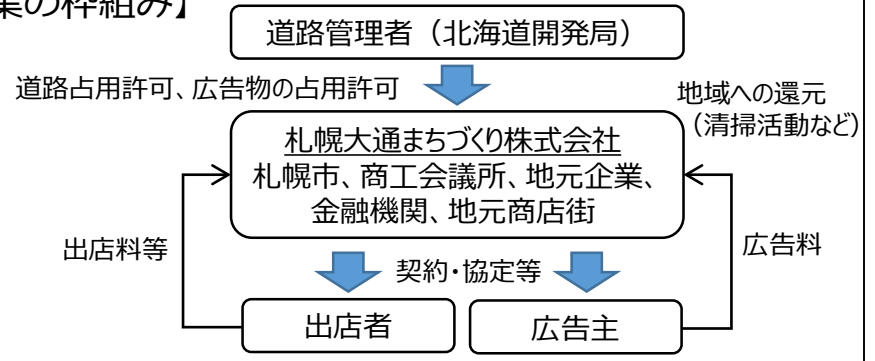
【導入機能・施設】

- 食事購買施設（調理、飲食、物販）、デッキ、広告塔

【空間利活用方策】

- 飲食事業、アートワークの展示・物販を基本として、あわせてワークショップ、ミニセミナー、企業プロモーション等

【事業の枠組み】



出典：大通すわろうテラスHP (http://sapporo-odori.jp/works/swallow_terrace/)